

# 平成30年度「全国学力・学習状況調査」教科別正答数分布(中学校)

グラフの縦軸：人数の割合、横軸：正答数

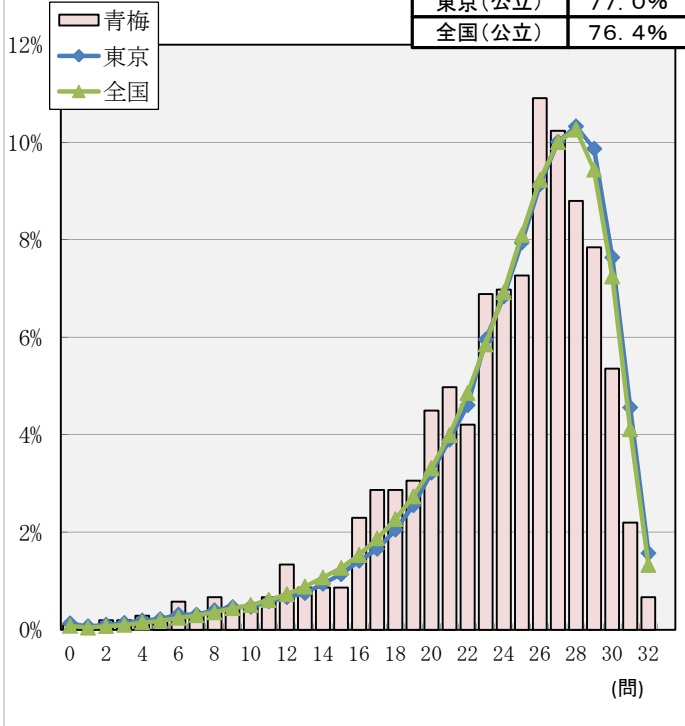
平成30年9月

青梅市教育委員会

国語A (主として「知識」に関する問題)

平均正答率

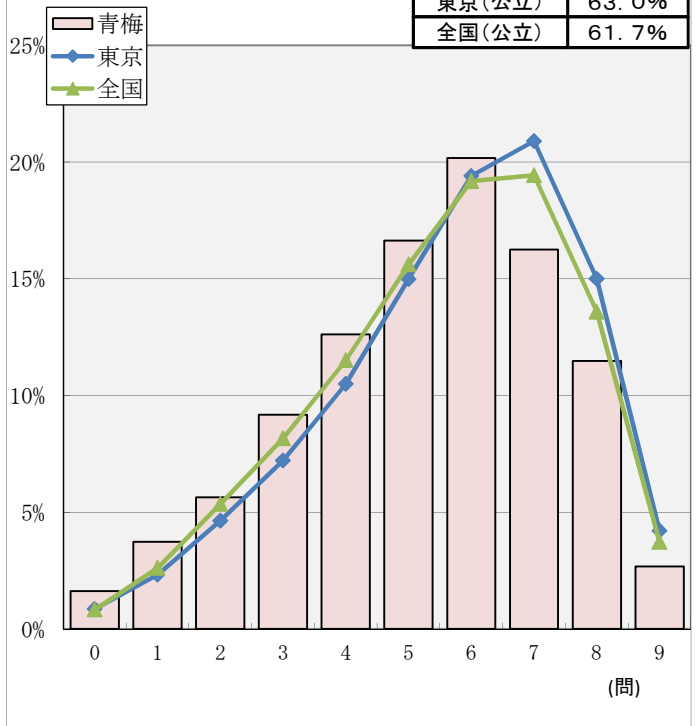
青梅市	74.0%
東京(公立)	77.0%
全国(公立)	76.4%



国語B (主として「活用」に関する問題)

平均正答率

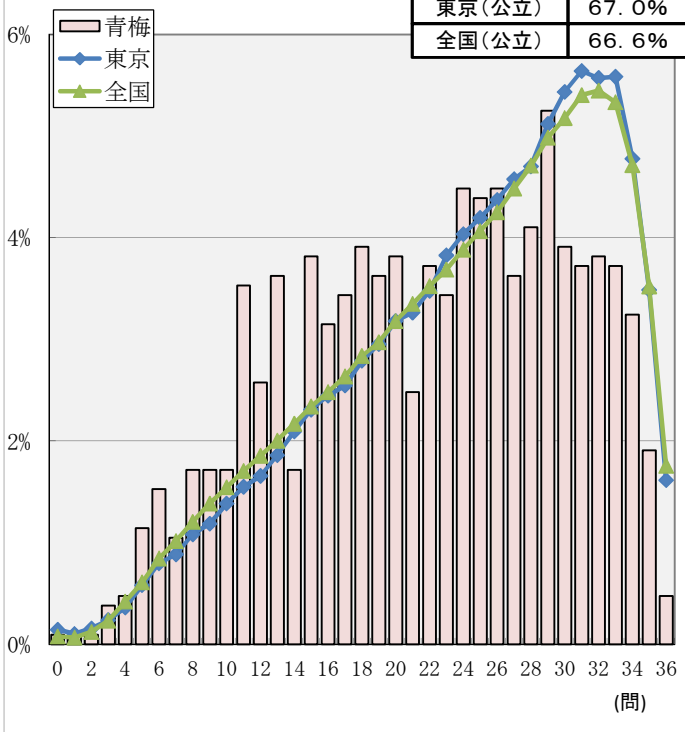
青梅市	59.0%
東京(公立)	63.0%
全国(公立)	61.7%



数学A (主として「知識」に関する問題)

平均正答率

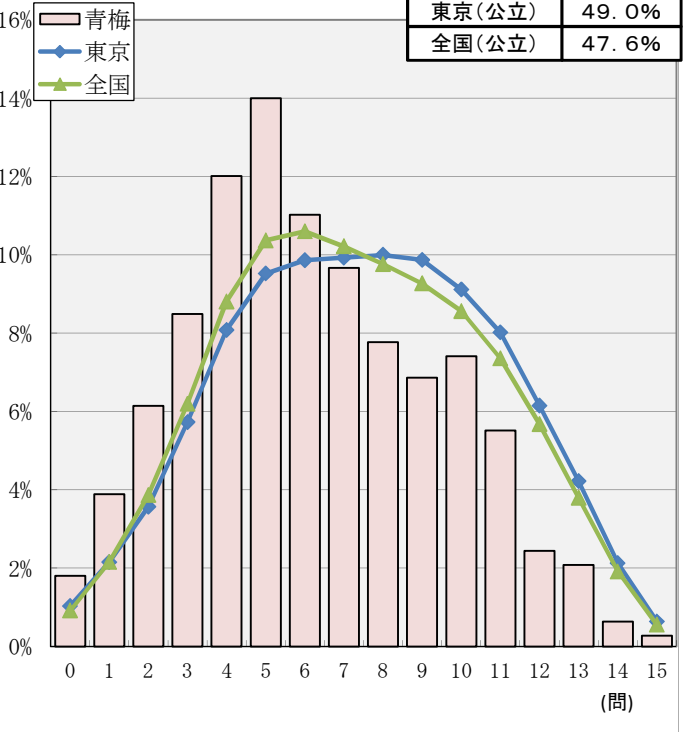
青梅市	61.0%
東京(公立)	67.0%
全国(公立)	66.6%



数学B (主として「活用」に関する問題)

平均正答率

青梅市	42.0%
東京(公立)	49.0%
全国(公立)	47.6%

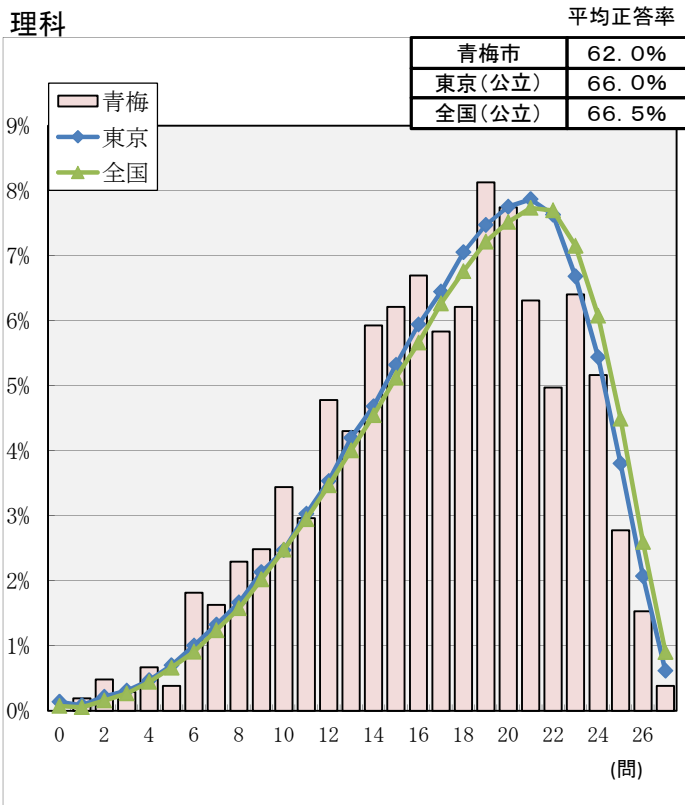


# 平成30年度「全国学力・学習状況調査」教科別正答数分布(中学校)

グラフの縦軸：人数の割合、横軸：正答数

平成30年9月

青梅市教育委員会



## <結果の概要>

○ 全国平均正答率と比較すると、国語Aにおいて、2.4ポイント、国語Bにおいて、2.7ポイント、数学Aにおいて、5.6ポイント、数学Bにおいて、5.6ポイント理科においては、4.5ポイント下回っている。昨年度と比較できる、国語A、国語B、数学A、数学Bに関しては、全国平均との差は縮まった。

## <改善策>

- 学力向上推進委員会において、今年度の調査結果の分析やグループ検証授業を行い、更なる学力向上のための授業力改善を図っていく。
- 青梅サタデークラス、ステップアップクラスを有効活用し、基礎・基本の定着を図っていく。